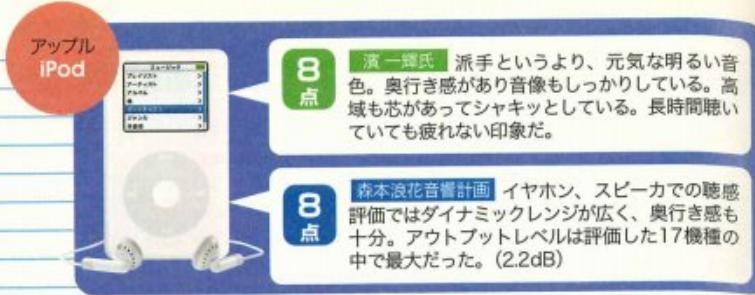


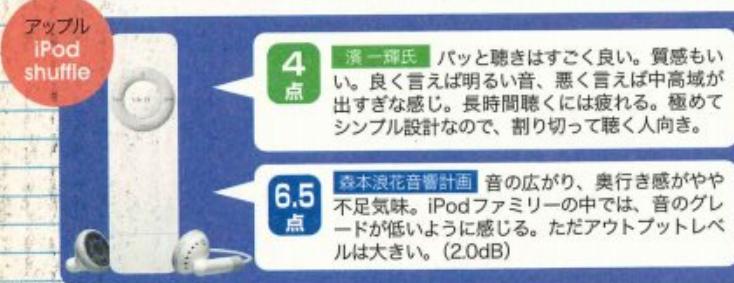
7点 濱一輝氏 中高域が張り出した、アメリカっぽい派手な音。同じメーカーでこうも違うものかと思うほどshuffleに比べて格段に音が良い。音抜けも良く、音像が前に来る感じで立体感が心地よい。

8点 森本浪花音響計画 iPodとほぼ同じく好印象。素直な特性を示しているようだ。アウトプットレベルは大きい。(2.2dB)



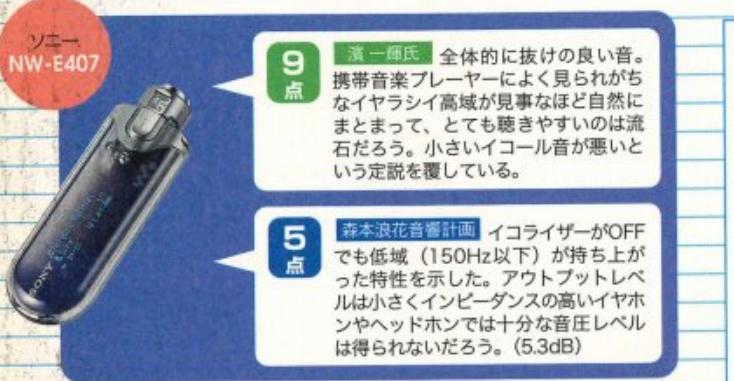
8点 濱一輝氏 派手というより、元気な明るい音色。奥行き感があり音像もしっかりしている。高域も芯があってシャキッとしている。長時間聴いていても疲れない印象だ。

8点 森本浪花音響計画 イヤホン、スピーカーでの聴感評価ではダイナミックレンジが広く、奥行き感も十分。アウトプットレベルは評価した17機種の中で最大だった。(2.2dB)



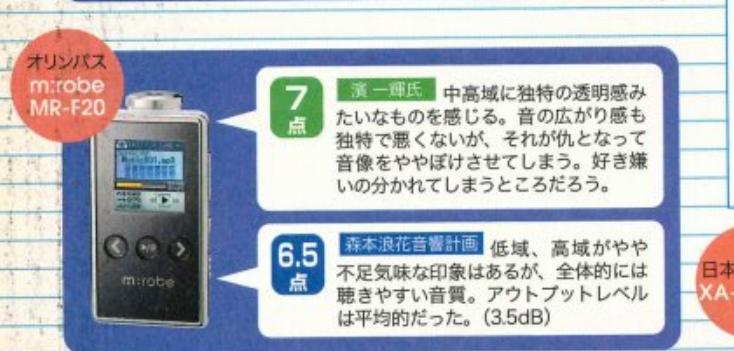
4点 濱一輝氏 パッと聴きはすごく良い。質感もいい。良く言えば明るい音、悪く言えば中高域が出すぎた感じ。長時間聴くには疲れ。極めてシンプル設計なので、割り切って聴く人向き。

6.5点 森本浪花音響計画 音の広がり、奥行き感がやや不足気味。iPodファミリーの中では、音のグレードが低いように感じる。ただアウトプットレベルは大きい。(2.0dB)



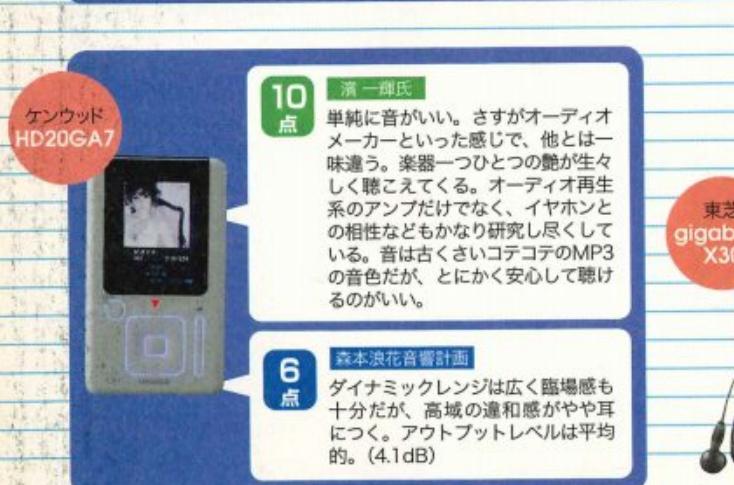
9点 濱一輝氏 全体的に抜けの良い音。携帯音楽プレーヤーによく見られるがちなイヤラシイ高域が見事なほど自然にまとまって、とても聴きやすいのは流石だろう。小さいイコール音が悪いという定説を覆している。

5点 森本浪花音響計画 イコライザーがOFFでも低域(150Hz以下)が持ち上がった特性を示した。アウトプットレベルは小さくインピーダンスの高いイヤホンやヘッドホンでは十分な音圧レベルは得られないだろう。(5.3dB)



7点 濱一輝氏 中高域に独特の透明感みたいなものを感じる。音の広がり感も独特で悪くないが、それが仇となって音像をややぼけさせてしまう。好き嫌いの分かれてしまうところだろう。

6.5点 森本浪花音響計画 低域、高域がやや不足気味な印象はあるが、全体的には聴きやすい音質。アウトプットレベルは平均的だった。(3.5dB)

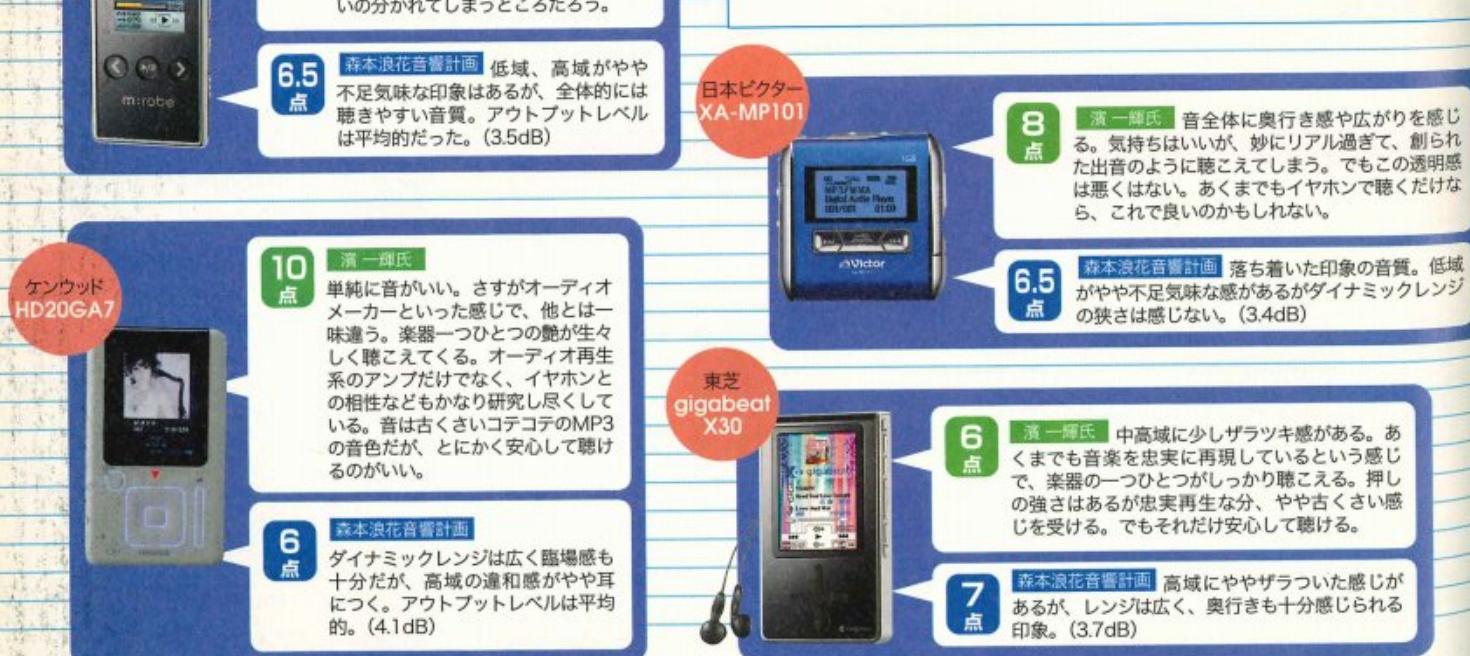


10点 濱一輝氏 単純に音がいい。さすがオーディオメーカーといった感じで、他とは一味違う。楽器一つひとつのが生々しく聴こえてくる。オーディオ再生系のアンプだけでなく、イヤホンとの相性などもかなり研究し尽くしている。音は古くさいコテコテのMP3の音色だが、とにかく安心して聴けるのがいい。

6点 森本浪花音響計画 ダイナミックレンジは広く臨場感も十分だが、高域の違和感がやや耳につく。アウトプットレベルは平均的。(4.1dB)

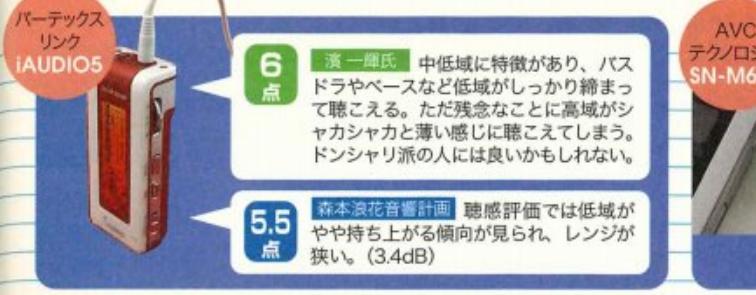
ESPミュージカルアカデミー
濱一輝氏

ESPミュージカルアカデミー音響アーチスト学科長。同校で若手音響エンジニアの育成に務める傍ら、レコーディングやライブでのPAエンジニアとしても活躍している。ドラマーでもある。



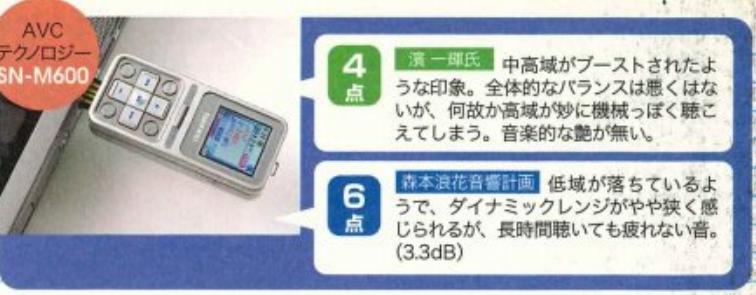
6点 濱一輝氏 中高域に少しザラツキ感がある。あくまで音楽を忠実に再現しているという感じで、楽器一つひとつがしっかり聴こえる。押しの強さはあるが忠実再生不分、やや古くさい感じを受ける。でもそれだけ安心して聴ける。

7点 森本浪花音響計画 高域にややザラついた感じがあるが、レンジは広く、奥行きも十分感じられる印象。(3.7dB)



6点 濱一輝氏 中低域に特徴があり、バスドラやベースなど低域がしっかりと締まって聴こえる。ただ残念なことに高域がシャカシャカと薄い感じに聴こえてしまう。ドンシャリ派の人には良いかもしれない。

5.5点 森本浪花音響計画 聽感評価では低域がやや持ち上がる傾向が見られ、レンジが狭い。(3.4dB)



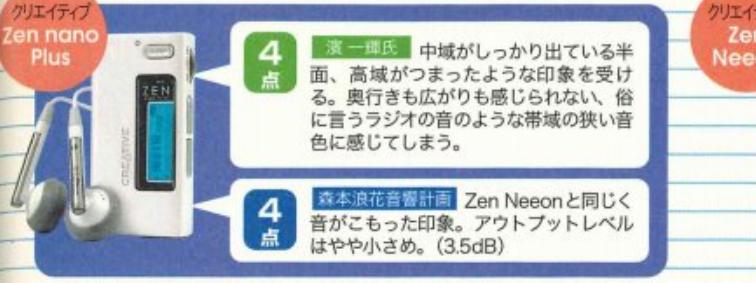
4点 濱一輝氏 中高域がブーストされたような印象。全体的なバランスは悪くはないが、何故か高域が妙に機械っぽく聴こえてしまう。音楽的な艶がない。

6点 森本浪花音響計画 低域が落ちているよう、ダイナミックレンジがやや狭く感じられるが、長時間聴いても疲れない音。(3.3dB)



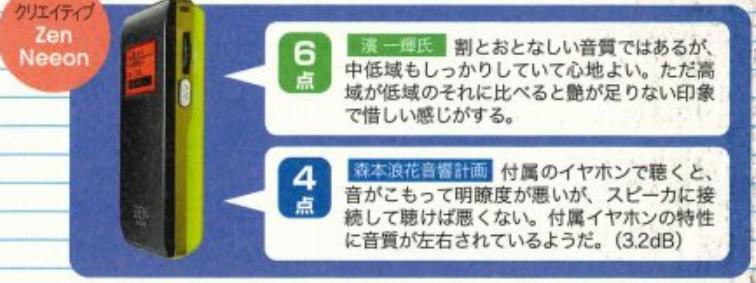
3点 濱一輝氏 音楽が全体的に軽く聴こえてしまう。低域がしっかりと聴こえるのに比べ、中高域が薄っぺらい印象。いわば雑な音に聴こえる。データと言う観点から分析して音を創ったという印象で、奥行き感や透明感に乏しい。

6点 森本浪花音響計画 高域がやや持ち上がった感じで、大きな音量では耳が痛い。アウトプットレベルは高い。(3.4dB)



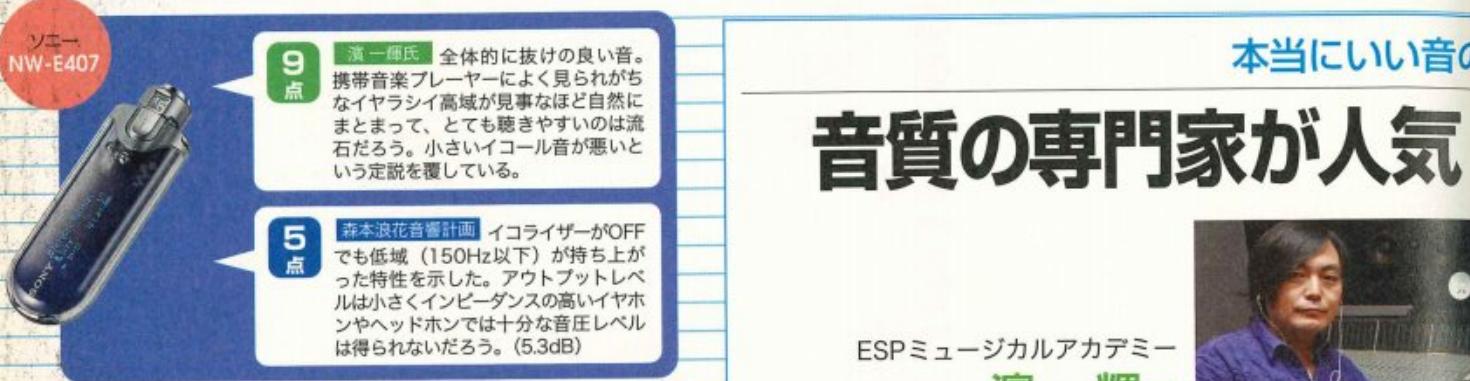
4点 濱一輝氏 中域がしっかり出ている半面、高域がつまつたような印象を受けれる。奥行きも広がりも感じられない、俗に言うラジオの音のような帯域の狭い音色に感じてしまう。

4点 森本浪花音響計画 Zen Neonと同じく音がこもった印象。アウトプットレベルはやや小さめ。(3.5dB)



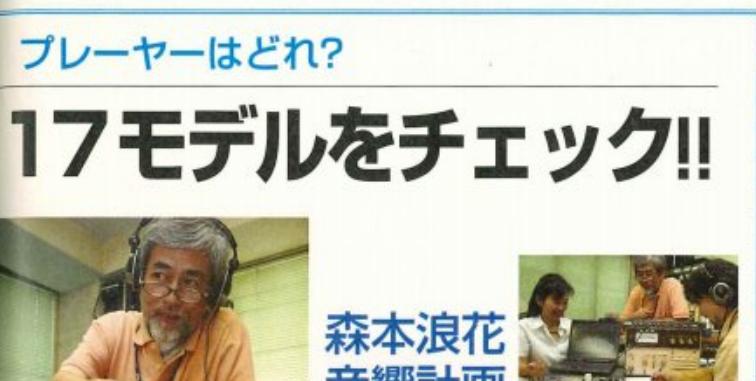
6点 濱一輝氏 割とおとなしい音質ではあるが、中低域もしっかりしていて心地よい。ただ高域が低域のそれに比べると艶が足りない印象で惜しい感じがする。

4点 森本浪花音響計画 付属のイヤホンで聴くと、音がこもって明瞭度が悪いが、スピーカーに接続して聴けば悪くない。付属イヤホンの特性に音質が左右されているようだ。(3.2dB)



ESPミュージカルアカデミー
濱一輝氏

ESPミュージカルアカデミー音響アーチスト学科長。同校で若手音響エンジニアの育成に務める傍ら、レコーディングやライブでのPAエンジニアとしても活躍している。ドラマーでもある。



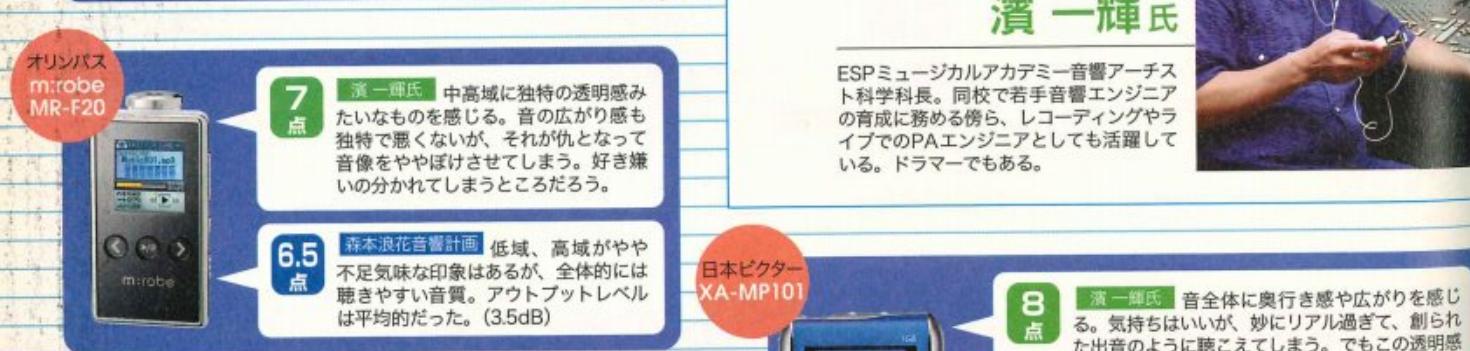
森本浪花音響計画

有名コンサートホールの音響設計などで多くの実績を持つ有力音響コンサルタント会社。過去に本誌と共同で行ったMP3プレーヤーの音質テストの結果が同社のWebサイトに公開されている。



4点 濱一輝氏 中域はしっかりと出ているが、音楽としての艶的なものが今一つ欠けている。高域もちょっと薄っぺらい。

7.5点 森本浪花音響計画 レンジが広く、綿密なタイトな低音を聴ける。H10 Jrと同じメーカーだが、音の作りが全く違う。(3.1dB)



8点 濱一輝氏 音全体に奥行き感や広がりを感じる。気持ちはいいが、妙にリアル過ぎて、創られた出音のように聴こえてしまう。でもこの透明感は悪くはない。あくまでイヤホンで聴くだけなら、これで良いのかもしれない。

6.5点 森本浪花音響計画 落ち着いた印象の音質。低域がやや不足気味な感はあるがダイナミックレンジの狭さは感じない。(3.4dB)



5点 濱一輝氏 ウルトラバスベースや低域が安定しているせいか、割りと安心して聴ける。イコライザーは低域の説得力みたいなものを感じる。

5.5点 森本浪花音響計画 音の分離が悪く、すべての音が一塊になった印象を受ける。アウトプットレベルは平均的。(3.1dB)



5点 濱一輝氏 ガッツがあり説得力のある音というか、とにかく低音がしっかりとパンチのある音。中低域の存在感があつてボーカルもしっかり聴こえる。高域のしつこりとした透明感のある音が少しわざとらしい感じも。

4.5点 森本浪花音響計画 聽感評価では高域が持ち上がった感じで全体のバランスが悪い。聴き疲れのする音。(3.67dB)

評価の方法

音質評価は2人の専門家（機関）に依頼した。携帯音楽プレーヤーに入れた評価用の楽曲を聴いてもらい、音質の良し悪しをチェックした。森本浪花音響計画にはこの聴感テストに加え、音響測定機器を使って音質データの測定も依頼した。測定したのは①63Hz～16kHzの周波数におけるレベルの変動幅②アウトプットレベル——の2点。レベルの変動幅は値が小さいほど原音に忠実な音が再現されていることを意味し、同社の評価コメントの最後に数値を記載した（3dB以内が許容範囲）。一方のアウトプットレベルは、外部スピーカーなどに接続した際にどれだけ迫力ある音を出力できるかを示す指標で、大きいほど良いとされる。なお評価に使用した楽曲はすべてMP3（ビットレート128kbps）形式とし、ファイル形式の違いによる音質の差が出ないようにした。また評価の際にはイコライザーをOFF、イヤホンは付属のものを使った。